

事業評価個票（事業実施：平成30年度～令和3年度）

事業名	県産米等輸出拡大強化事業費		開始/終了(予定)年度	平成30 / 令和4		活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
部局・担当課名	農林水産部農政企画課美味い山形流通販売推進室					活動指標及び活動実績 (アウトプット)	①～④国別輸出アクションプラン（輸出マニュアル）の策定（累計）	活動実績	国・地域	3	6	8	8		
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱2] 競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化 [政策2] 収益性の高い農業の展開					当初見込み	国・地域	3	5	7	8	8		
	施策	[施策4] 6次産業化の展開などによる付加価値の向上					活動実績								
	目標指標	県産農産物の輸出額		令和6年度まで1,500百万円			当初見込み								
事業の目的	国内の米の需要量が毎年8万トン減少している中で、稲作農家の所得の維持・向上を図っていくためには、海外に市場を求め輸出量を拡大していくことが重要とされており、政府では「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」により、輸出に取り組む体制を整備し、輸出に向けた取組みを進めている。この戦略とも連携しながら、業務用としての米の輸出促進を中心に、ブランド米を含めた県産米の輸出拡大の加速化を図る。							活動実績							
事業概要 (令和3年度の実施内容)	○米国現地日系スーパーにおける販売プロモーションの実施 米国ハワイ州及びカリフォルニア州の日系スーパーにおいて、「つや姫」等県産農産物及び県産農産物加工品等の認知度向上と販路拡大を目的としたセールスプロモーションを実施した。							当初見込み							
	○米国ハワイ州におけるレストランプロモーションの実施 現地レストラン4店舗において、「つや姫」を使用したメニューの提供や一部店舗で「つや姫」の販売を行い、現地での「つや姫」の認知度向上を図った。						活動実績								
	○輸出支援組織における機能強化 県産農産物の輸出競争力強化に向け、関係団体との連携強化を図った。						当初見込み								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 ()					成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標（所管部局の分析）		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
当初予算額 (単位:千円)	費目 (予算見積書グループ名)		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	①～④県産農産物輸出数量(当該年度の県全体量)	成果実績	トン	1,507	1,650	1,319	
	① 輸出用米の競争力強化		4,000	5,320	952		0	0	目標値	トン	1,100	1,200	1,300	(設定なし)	
	② 海外市場でのプロモーションの展開		9,198	10,778	7,717		5,450	9,844	達成度	%	137%	138%	101%		
	③ 輸出支援組織による輸出支援事業		3,365	3,427	2,285		2,285	2,285	①～④県産農産物輸出金額(当該年度の県全体額)	成果実績	百万円			818	(集計中)
④ バックライスによる中国向け米輸出の拡大 県産米輸出加速化事業費補助金 販売促進資材の作成		11,212	0	0	0		0	目標値	百万円	(設定なし)		1,100	1,200	1,300	
計		27,775	19,525	10,954	7,735	12,129	達成度	%			74%				
財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金					2,708	4,487	活動指標及び成果指標設定の考え方							
	県債							①県産農産物輸出数量 少子高齢化等により国内の食市場は縮小傾向であることから、本県農業を維持するために県産農産物の新たな市場（販路）を海外に開拓することが重要である。本事業目標は、H27県産農産物輸出実績に、政府輸出戦略で定める目標値1兆円に対するH27輸出額からの伸び率1.3倍を乗算し設定した。 (第三次農林水産業元気再生戦略のプロジェクト目標と同じ)							
	その他特定財源							②県産農産物輸出金額 基準年(平成30年度)実績(899百万円)に国の過去3年の農産物輸出額の年平均増加率9.3%を乗じたものを目標と設定した。							
	一般財源		27,775	19,525	10,954	5,027	7,642								
計		27,775	19,525	10,954	7,735	12,129									

事業所管部局による評価・検証（令和4年7月）

項目	評価 (ABC)	評価に関する説明	課題
必要性	A	事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。	課題 コロナの影響により海外渡航ができず、現地バイヤーの協力を得て、現地スタッフ対応で各種プロモーションを実施した。販路の維持・拡大のためには、現地の消費者や実需者に生産者等が直接働きかけることが重要であり、コロナの状況を見極めながら、現地に渡航して直接働きかける取組みを再開していくことが必要。
事業の効率性	A	海外での県産品(販売)プロモーション・輸出支援事業の委託先は、専門的知識を有する法人を選定しており支出先は妥当である。また、受益者は公募を行っており、プロモーションに係る費用(サンプル代、サンプル発送費用等)については負担を求めており妥当である。	
事業の有効性(達成度)	A	事業実施に当たっては効果的な手段・方法を検討し、低コストに努めた。なお、他部局に県産米等県産農産物に特化した輸出に関する類似の事業はない。	
事業の有効性(達成度)	A	令和3年度は、現地パートナーと連携し、現地においてプロモーションを開催することにより県産品の認知度向上につながった。また、新商品の企画・商品化、輸入バイヤーへの提案・輸出調整を継続して実施することにより、コロナ禍においても輸出拡大に向けた取組みを継続することができた。	今後の対応 コロナ禍からの回復をとらえた県産米等の輸出拡大に向け、米国(カリフォルニア州)のホテルで、レストラン関係者などの実需者を対象に、「つや姫」等県産食材を活用した業務向けプロモーションを実施予定。また、新規市場の開拓として、カナダへの輸出販路開拓・拡大に向け、現地小売店において、日本産食品に対する現地ニーズや商流等の市場調査を実施予定。
事業の有効性(達成度)	B	令和2年度は、県産農産物の輸出金額は前年度水準を維持したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済活動の規制を受けて業務用米が減少したことなどから、目標額を達成することができなかった。一方、県産農産物の輸出数量は、目標数量を達成することができた。	

(評価基準)「事業の必要性・事業の効率性 A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い」

「事業の有効性(達成度) A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:おおむね目標どおりの成果、活動見込をおおむね達成(80%以上100%未満)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(80%未満)」

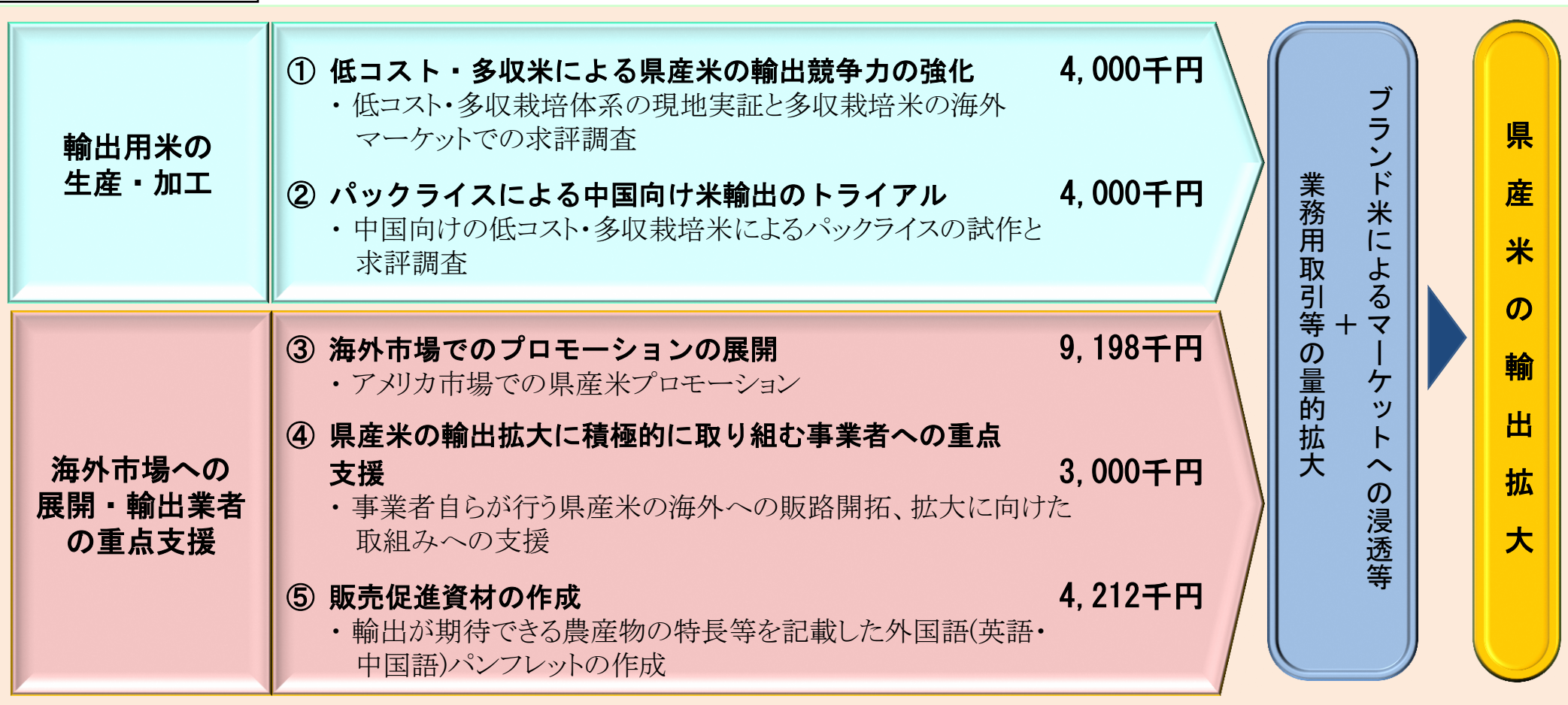
県産米等輸出力強化推進事業費【新規】

27,775千円

目的

- 低コスト・多収栽培等による県産米の輸出競争力強化とブランド米のプロモーションや米輸出に意欲的な事業者への重点支援により、県産米の輸出拡大の加速化を図る。

事業内容



令和3年10月5日
農林水産部

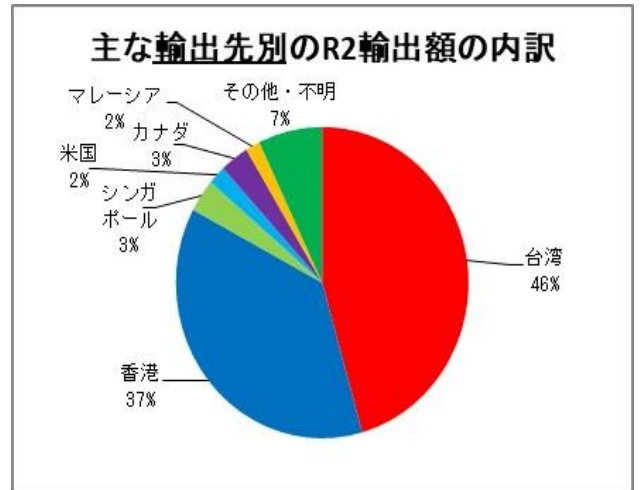
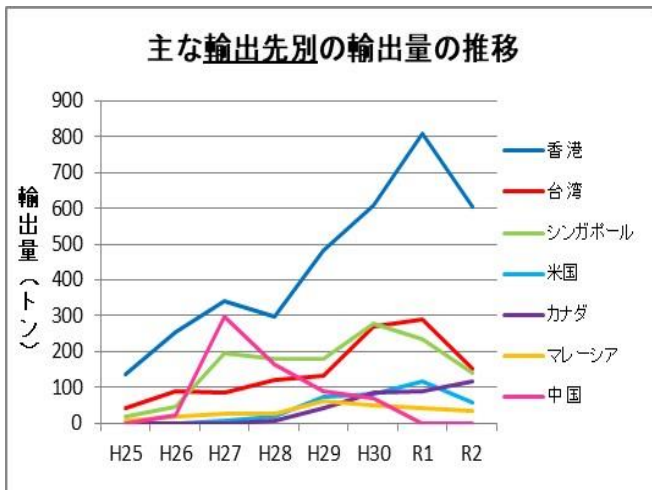
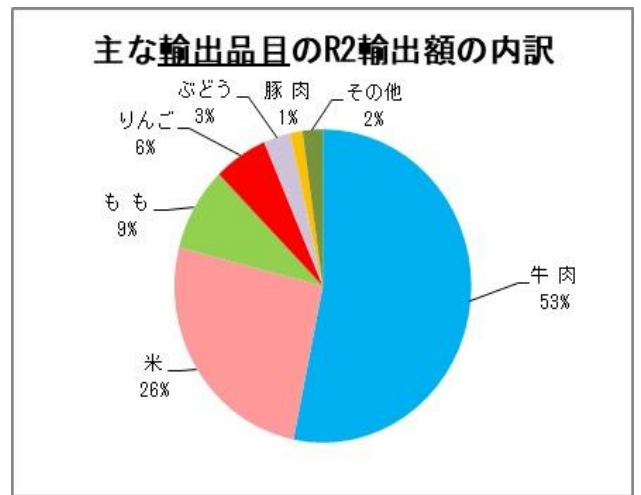
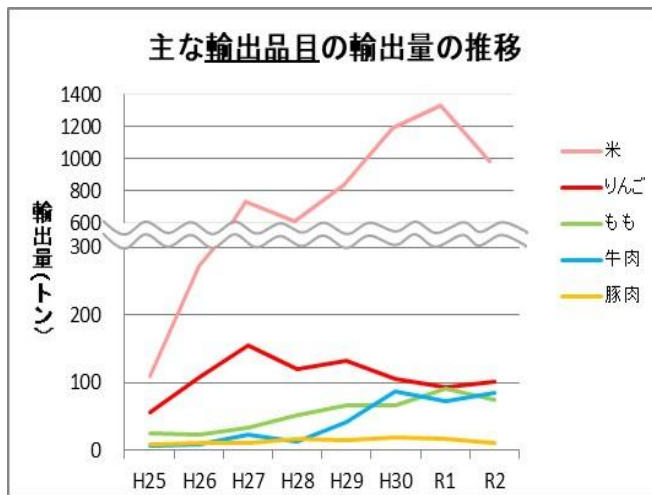
令和2年度県産農産物の輸出実績について

県産農産物の輸出量は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響で米の輸出量が減少したことにより、令和2年度は1,319トン（前年度比80%）となった。

一方、県産農産物の輸出額は、米の輸出額が減少したものの、牛肉の輸出額が増加したことにより、818百万円（前年度比99%）となった（推計）。

- 「米」の輸出量は、香港・台湾・シンガポール・米国向けの業務用米が減少しており、990トン（前年度比74%）となった。
- 品目別輸出額が435百万円と最も多い「牛肉」の輸出量は、台湾向けで増加した影響により86トン（前年度比119%）となった。

県産農産物の輸出量の推移及び令和2年度輸出額の内訳



県産農産物の輸出货量及び輸出額の推移等

【主要輸出品目別の輸出货量】

(単位：トン)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
輸出货量	227	455	987	843	1,128	1,507	1,650	1,319
米	111	273	733	612	839	1,197	1,338	990
りんご	57	107	155	121	133	106	94	101
もも	25	23	33	53	67	66	91	76
ぶどう	0	1	9	12	10	6	11	12
西洋なし	10	9	14	9	10	13	9	11
柿	1	2	2	1	7	3	9	15
メロン	3	6	2	1	2	6	8	7
さくらんぼ	0	0	1	1	1	1	1	2
牛肉	7	10	23	14	42	88	72	86
豚肉	9	11	11	17	15	19	17	12

【輸出額】

(単位：百万円)

	H29	H30	R1	R2
輸出額	557	899	828	818
米	155	239	278	211
りんご	51	50	45	48
もも	46	47	73	71
ぶどう	23	11	18	24
西洋なし	5	6	4	4
柿	2	2	3	4
メロン	1	3	4	3
さくらんぼ	4	4	5	5
牛肉	257	519	382	435
豚肉	14	18	16	11

【主要輸出先別の輸出货量】

(単位：トン)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
輸出货量	227	455	987	843	1,128	1,507	1,650	1,319
香港	138	255	343	297	484	610	808	606
台湾	44	89	87	120	132	269	292	153
シンガポール	20	45	197	179	181	279	236	139
米国	0	0	7	18	75	80	119	59
カナダ	0	0	7	7	44	84	91	119
マレーシア	6	20	26	26	63	52	43	33
タイ	16	13	11	16	12	10	12	9
欧州	—	5	7	7	28	28	7	9
中国	1	23	296	165	90	69	—	—

【輸出額】

(単位：百万円)

	H29	H30	R1	R2
輸出額	557	899	828	818
香港	222	272	330	304
台湾	228	470	347	373
シンガポール	31	56	50	28
米国	19	22	28	16
カナダ	7	19	22	26
マレーシア	17	18	15	13
タイ	7	8	15	10
欧州	5	7	2	3
中国	17	14	—	—

【令和2年度の主要輸出先別・主要輸出品目別輸出货量】

(単位：トン)

	主要輸出先	主要輸出品目										輸出先別 輸出货量計
		米	りんご	もも	ぶどう	西洋なし	柿	メロン	さくらんぼ	牛肉	豚肉	
	香港	490	12	34	5	7	12	2	0	28	12	606
	台湾	20	39	30	3	1	—	2	0	57	—	153
	シンガポール	129	7	0	1	1	—	1	0	—	—	139
	米国	58	—	—	—	—	1	—	—	—	—	59
	カナダ	119	—	—	—	—	—	—	—	—	—	119
	マレーシア	—	25	3	1	0	1	1	0	—	—	33
	タイ	—	7	1	0	—	—	—	0	1	—	9
	欧州	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9
	中国	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	品目別輸出货量計	990	101	76	12	11	15	7	2	86	12	1,319

※ 輸出状況は把握可能な輸出事業者等からの聞き取り調査による。輸出額は、財務省貿易統計を用いて一部推計。

※ 表中「—」は輸出実績なし、「0」は輸出実績があるものの四捨五入により1トンに満たないもの。

以上